

THE POST-2015 TB STRATEGY
ポスト 2015 結核戦略 (Oct.31.2013)

ビジョン： A world free of TB
結核のない世界

ゴール： 結核による死亡ゼロ または
結核死亡や発病の根絶 または
公衆衛生問題としての結核の根絶

2025 年までの中間目標：

1. 結核死亡率の 50%削減 (2015 年と比較して)
2. 結核有病者率の 50%削減 (2015 年と比較して)
3. MDR-TB 対策の目標：治療普及率●% (未定)

要素：

1. 革新的な結核治療 (ケア)
 - a. 迅速な結核診断 (患者全員に対する薬剤感受性検査を含む)
接触者およびリスクグループに対する系統的な健診の実施
 - b. MDR-TB を含む結核全てに対する治療と患者支援
 - c. TB 対策と HIV 対策の連携活動、結核合併症の管理
 - d. ハイリスク集団に対する予防的治療および小児に対する予防接種
2. 大胆な政策と支援システム
 - a. 政府の指導責任と関与、モニタリングと評価を伴った結核治療・管理のための資源の確保
 - b. コミュニティ、CSO、すべての公的・私的医療施設の参加
 - c. 患者登録、患者届け出、薬の品質保証と適正使用、感染制御に関する規制の枠組み
 - d. UHC、社会的保護、その他の社会的決定要因に留意した対策措置
3. 研究と技術革新の強化
 - a. 新しい検査法、抗結核薬、ワクチンの発見、開発と迅速な導入
 - b. 新技術を導入し最適に利用するためのオペレーショナルリサーチ

原 則

- 1 人権、平等と倫理の追求
- 2 国ごとに戦略や目標を適合させる
- 3 国同志の連携と全世界的な支援体制